

## 佐倉市の介護保険事業の特徴（令和3年度）

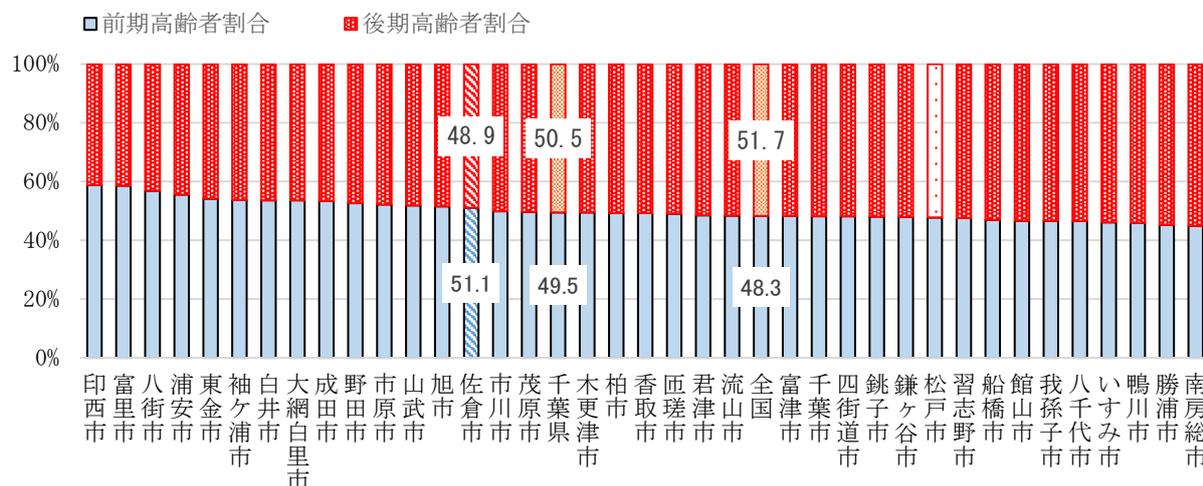
厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システム (<http://mieruka.mhlw.go.jp/>) を用いて、佐倉市の介護保険に関するデータを把握・分析しました。

### 1. 人口及び世帯

#### ①高齢化率及び前期・後期別高齢者割合

佐倉市は、全国・千葉県と比較して、高齢化率が高い状況ですが、現時点では前期高齢者の割合が高く、後期高齢者の割合が低い傾向となっています。

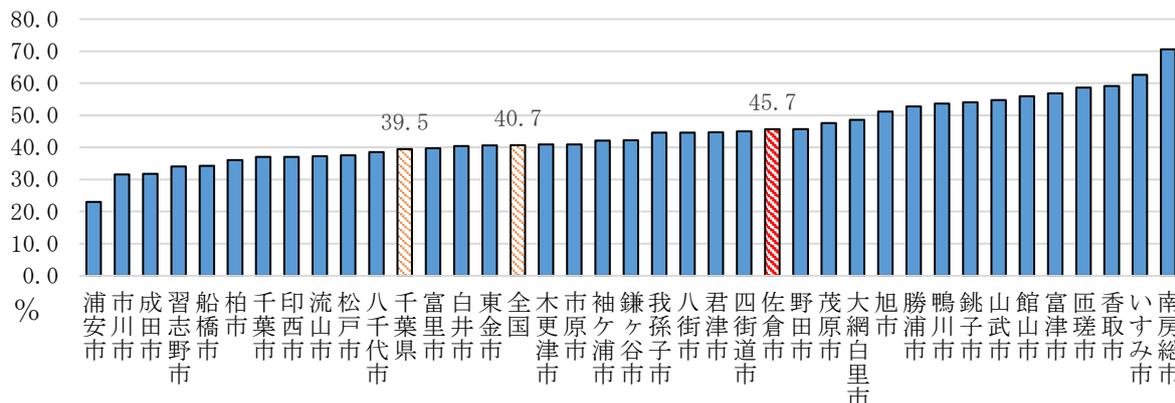
	佐倉市	千葉県	全国
高齢化率 (%)	32.6	28.3	28.9
前期高齢者（65歳以上75歳未満）割合 (%)	51.1	49.5	48.3
後期高齢者（75歳以上）割合 (%)	48.9	50.5	51.7



出典：厚生労働省「見える化「システム」 A2. 高齢化率、A3-a. 前期・後期別高齢者割合 令和2年（2020年）時点

#### ②高齢者を含む世帯の割合

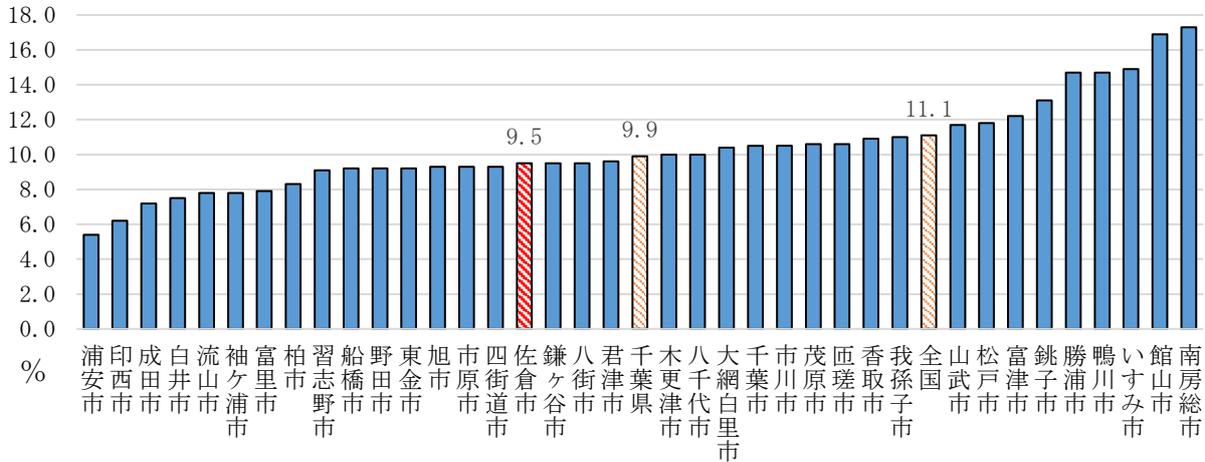
佐倉市は、全国・千葉県と比較して、高齢者を含む世帯の割合が高い傾向となっています。



出典：厚生労働省「見える化「システム」 A6-a. 高齢者を含む世帯の割合 平成27年（2015年）時点

### ③高齢者独居世帯の割合

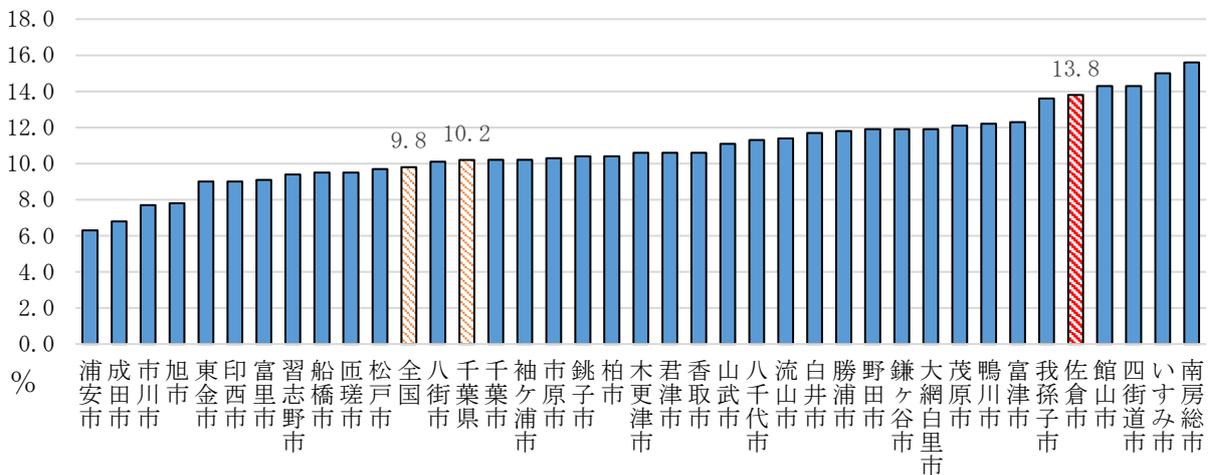
佐倉市の高齢者独居世帯数は6,529世帯です。全国・千葉県と比較して、高齢者独居世帯の割合は低い傾向となっています。



出典：厚生労働省 見える化「システム」 A7-a. 高齢独居世帯の割合 平成27年（2015年）時点

### ④高齢者夫婦世帯の割合

佐倉市の高齢者夫婦世帯数は9,470世帯です。全国・千葉県と比較して、高齢者夫婦世帯の割合は高い傾向となっています。



出典：厚生労働省 見える化「システム」 A8-a. 高齢夫婦世帯の割合 平成27年（2015年）時点

### 考察

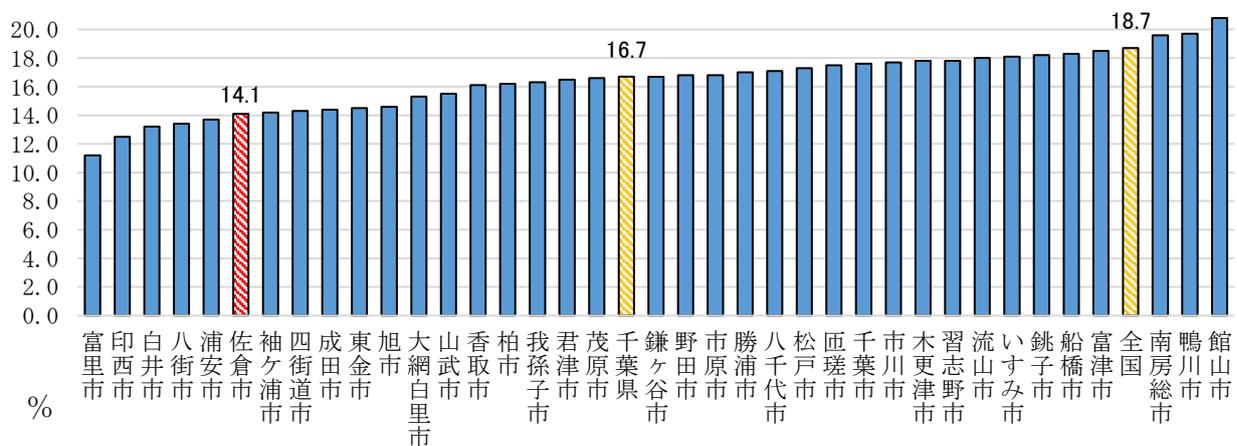
高齢化率は、全国や千葉県平均よりも高いものの、前期高齢者（65歳以上74歳未満）の割合が高いのが特徴です。また、高齢者独居世帯の割合はそれほど高くなく、高齢者夫婦世帯など的高齢者を含む世帯の割合が比較的多い状況といえます。

## 2. 認定

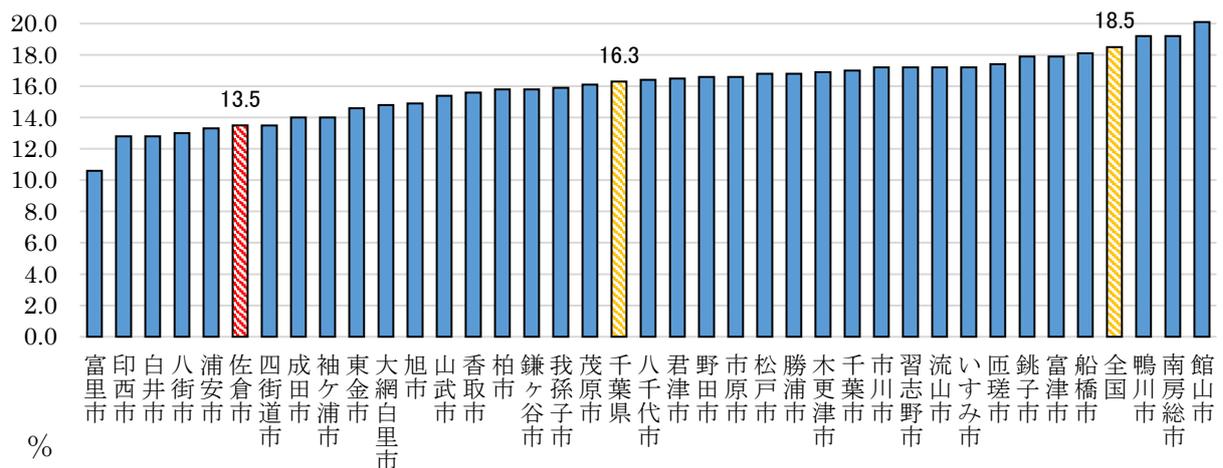
### ①要介護（要支援）認定率

認定率は、全国・千葉県と比較して低い傾向となっています。令和2年度における佐倉市の認定率は、令和元年度と比較すると0.6ポイント上昇しています。

	佐倉市	千葉県	全国
認定率 (%) 令和2年(2020年)時点	14.1	16.7	18.7
認定率 (%) 令和元年(2019年)時点	13.5	16.3	18.5



出典：厚生労働省「見える化」システム B4-a. 認定率 令和2年(2020年)時点

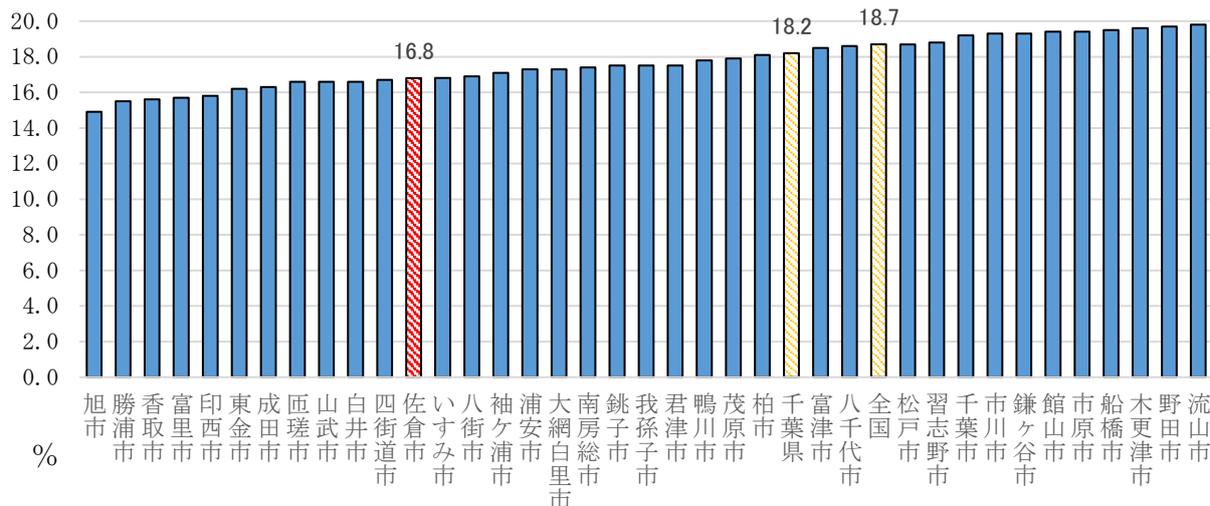


出典：厚生労働省「見える化」システム B4-a. 認定率 令和元年(2019年)時点

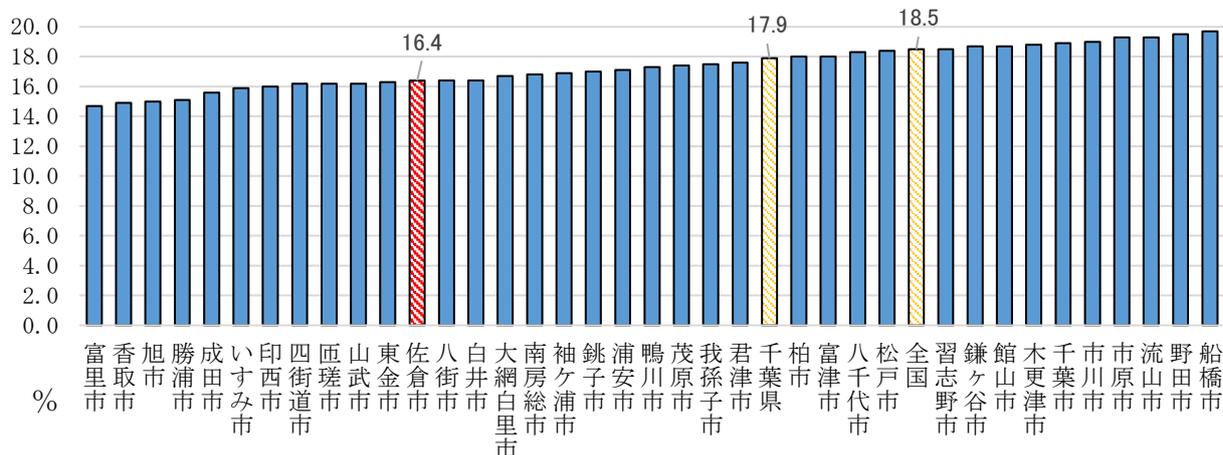
## ②調整済み要介護（要支援）認定率

一般的に、後期高齢者の認定率は前期高齢者のそれよりも高くなることがわかっていますので、大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性別・年齢構成」の影響を除外した認定率である調整済み認定率を用いて比較します。

調整済み認定率も、全国・千葉県と比較して低い傾向となっていますが、令和元年度に比べ、令和2年度は0.4ポイント上昇しています。



出典：厚生労働省「見える化」システム B5-a. 調整済み認定率 令和2年（2020年）時点

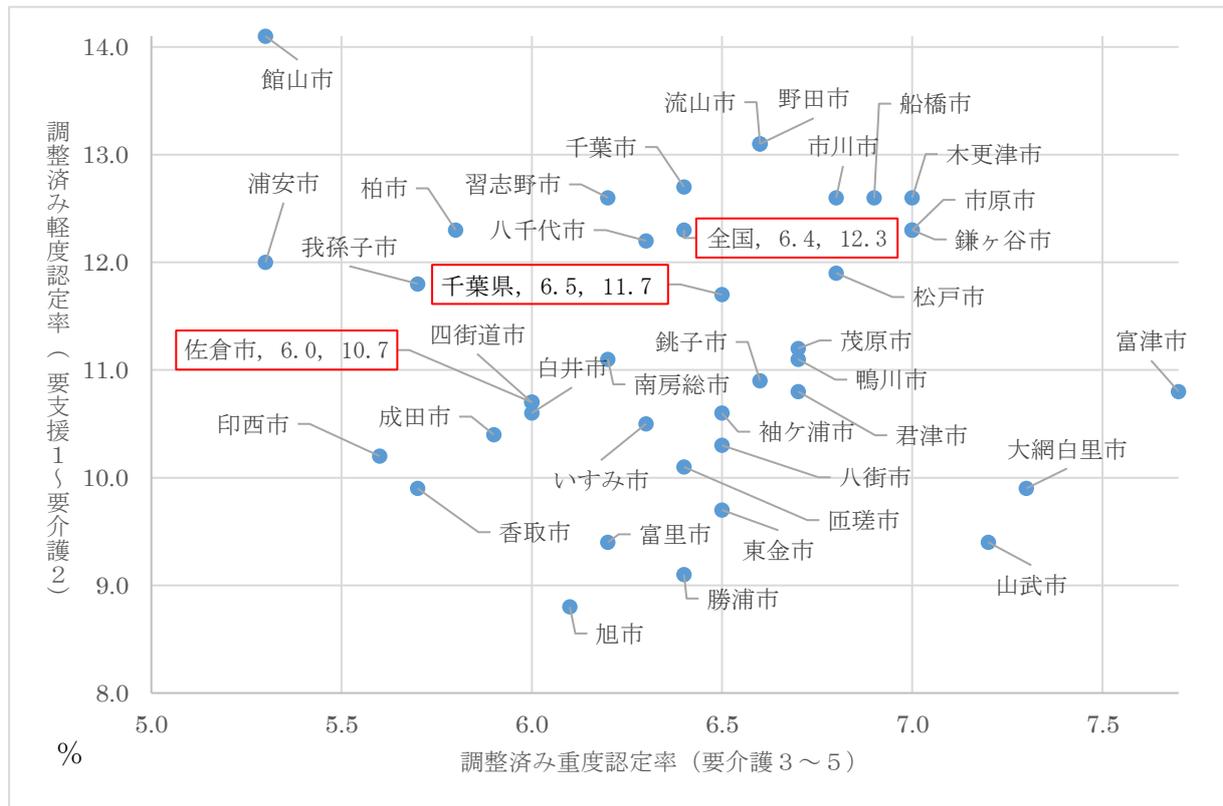


出典：厚生労働省「見える化」システム B5-a. 調整済み認定率 令和元年（2019年）時点

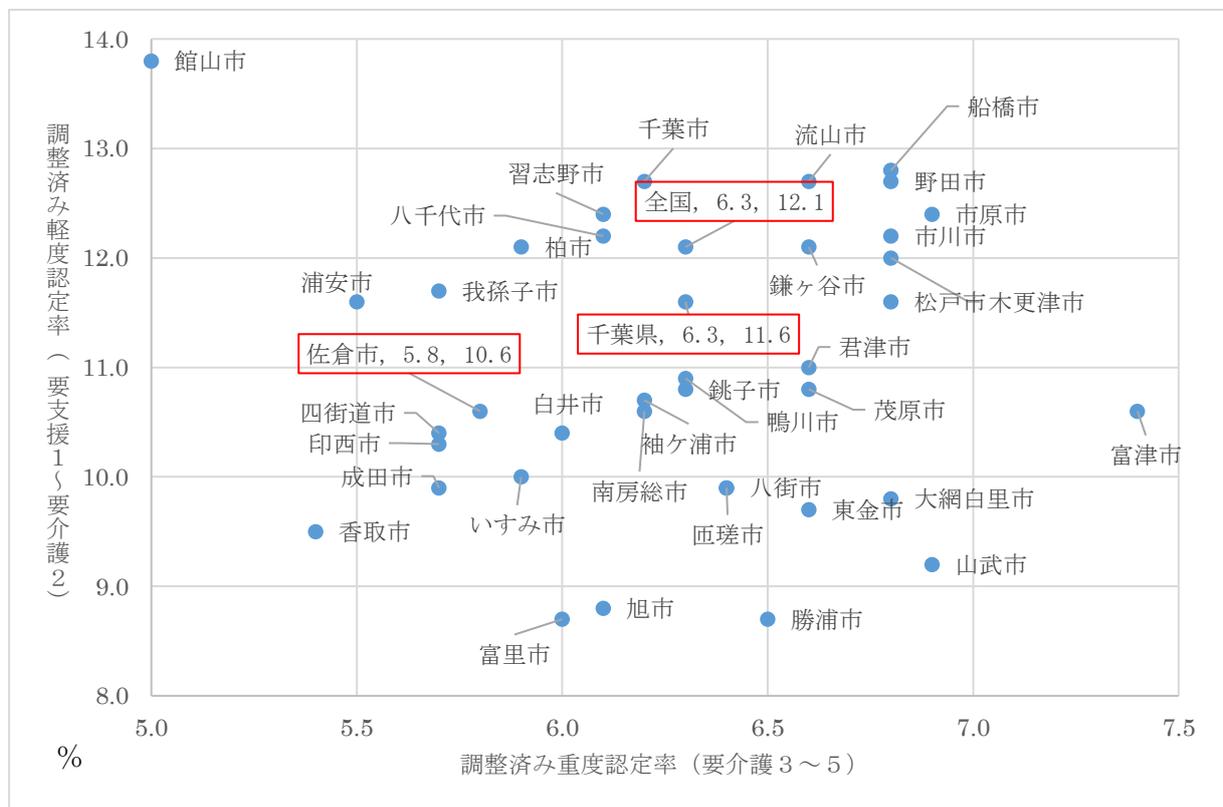
## ③調整済み重度認定率・軽度認定率の分布

横軸の「重度認定率」は、要介護3以上の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値、縦軸の「軽度認定率」は、要支援1～要介護2の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値を表しています。

調整済みの重度調整済み認定率及び軽度認定率も、全国・千葉県と比較して低い傾向となっています。



出典：厚生労働省「見える化」システム B6. 調整済み軽度認定率と調整済み重度認定率の分布 令和2年（2020年）時点



出典：厚生労働省「見える化」システム B6. 調整済み軽度認定率と調整済み重度認定率の分布 令和元年（2019年）時点

## 考察

佐倉市の認定率は、県内では37市中6番目に低いものです。これは、佐倉市は前期高齢者の割合が多いことや一人暮らし高齢者の割合が比較的少ないことに加え、市の介護予防活動への取組みや、個々の高齢者の積極的な社会参加等の要因が複合的に重なった結果と推察されます。

一方、調整済み認定率についても、軽度者認定率、重度者認定率ともに県内で比較的低位を示していることから、引き続き、認定率に影響を与えている要素の詳細な検討を行うとともに、印旛地域の市の認定率が押し並べて比較的低位であることを踏まえ、世帯構成や運動習慣等の広域的な把握も考慮して要因分析をする必要があると考えます。

### 3. 費用額

#### 第1号被保険者1人あたりの1月あたり費用額

費用額は、各サービスとも年々増加していますが、佐倉市は、全国・千葉県と比較して、第1号被保険者1人あたりの1月あたり費用額が低い傾向にあります。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度※
費用額 (円)		10,980,006,507	11,552,593,919	12,042,797,131
費用額 (在宅サービス)		5,277,551,119	5,609,357,306	5,859,145,867
費用額 (居住系サービス)		1,429,982,424	1,525,445,431	1,610,944,900
費用額 (施設サービス)		4,272,472,964	4,417,791,182	4,572,706,364
被保険者1人1月あたり費用額 (円)	佐倉市	16,373.2	16,968.6	17,433.9
	千葉県	19,751.5	20,447.8	20,967.5
	全国	23,498.7	24,105.9	24,579.7

※令和3年2月サービス提供分まで

出典：厚生労働省「見える化」システム P3\_介護費用額の推移 令和3年4月末時点

「在宅サービス」「居住系サービス」「施設サービス」とは、以下のサービスを意味します。

- 在宅サービス…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護
- 居住系サービス…特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
- 施設サービス…介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院

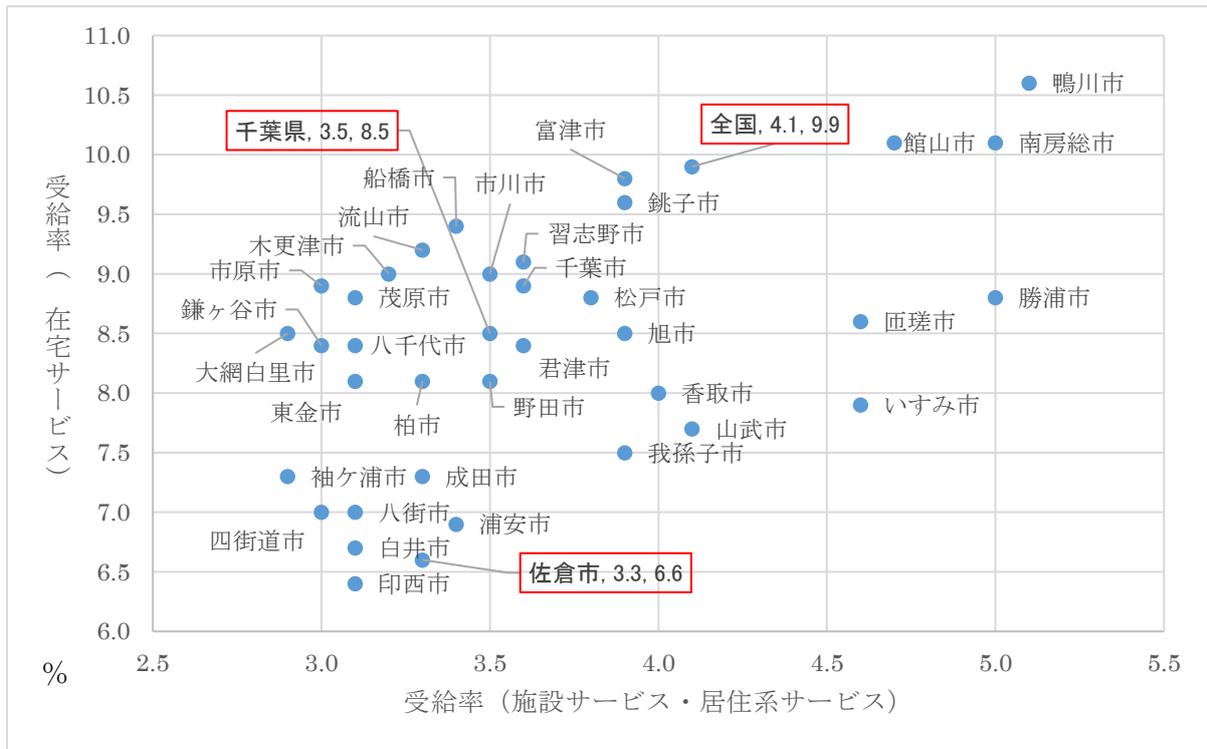
#### 考察

佐倉市全体のサービスにかかる介護費用額は年々増加しているものの、被保険者1人1月あたりの費用額で見ると、全国・千葉県と比較し低い状況です。認定率の低さが影響しているものと推測されます。

#### 4. 受給者、定員

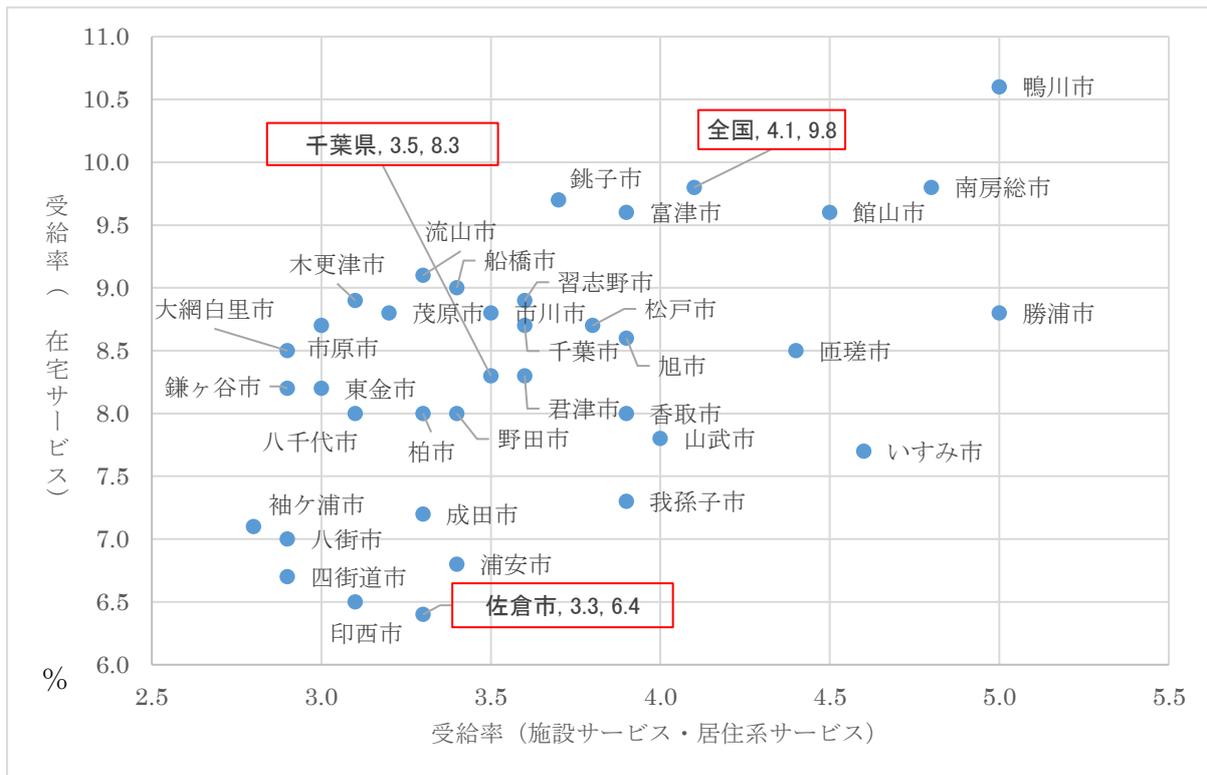
##### ①在宅サービス及び施設・居住系サービスの受給率

サービスの受給者数を第1号被保険者数で除した値です。



(出典) 厚生労働省「見える化」システム D2 受給率 令和2年(2020年)時点

厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

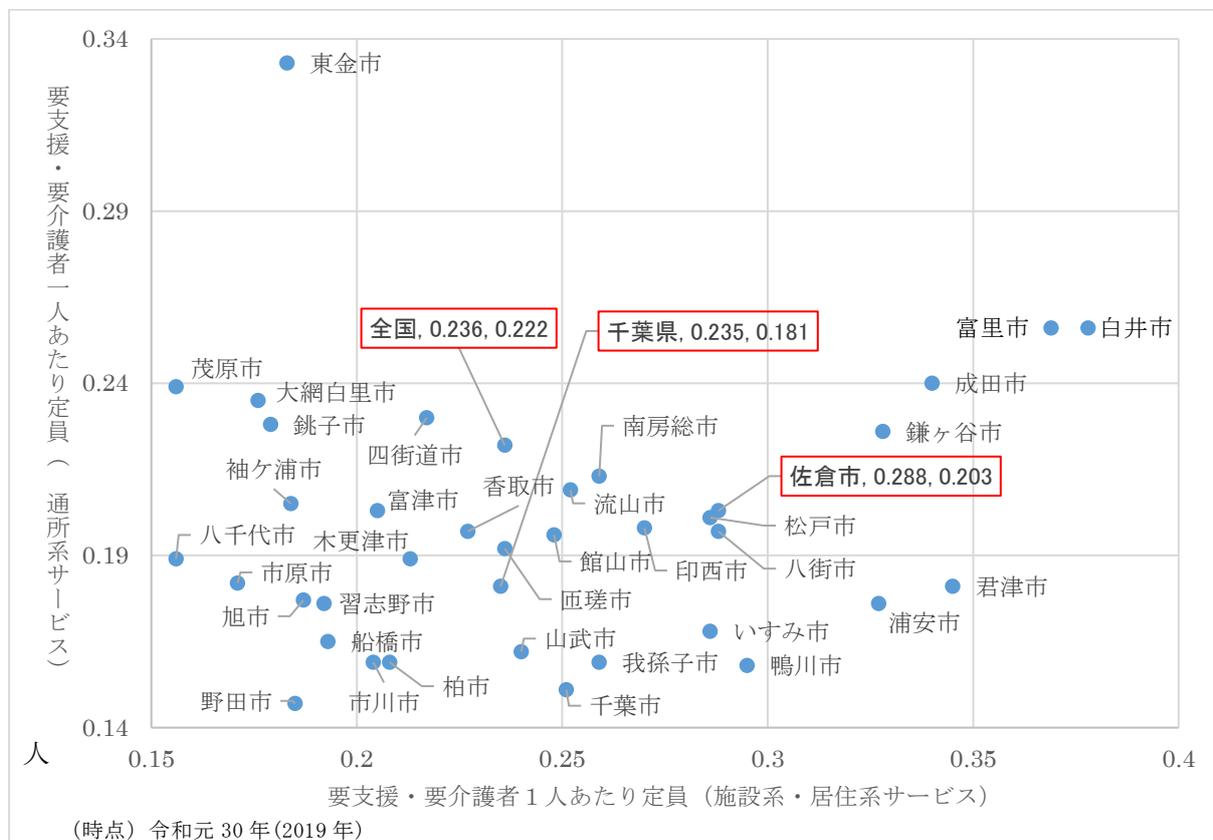


(出典) 厚生労働省「見える化」システム D2 受給率 令和元年(2019年)時点

厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元)

## ②要支援・要介護者1人あたりの定員

施設・居住系サービス、通所系サービスの定員を要支援・要介護者数で除した値です。要支援・要介護者に対するサービスの提供可能量を比較することができます。



(出典) 厚生労働省「見える化」システム D28, D29, D30 要支援・要介護者1人あたり定員

介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

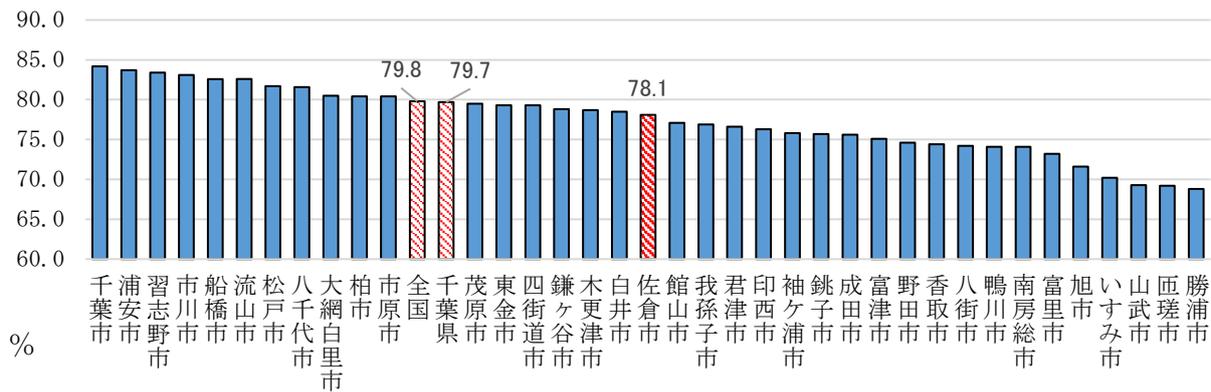
➤ 通所系サービス…通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護（宿泊＋通い）、看護小規模多機能型居宅介護（宿泊＋通い）

## ③在宅・居住系サービス利用割合

「在宅・居住系サービス利用者割合」は、「在宅および居住系サービス」と「施設サービス」の利用者数の総和に対する、「在宅および居住系サービス」の利用者数を意味します。

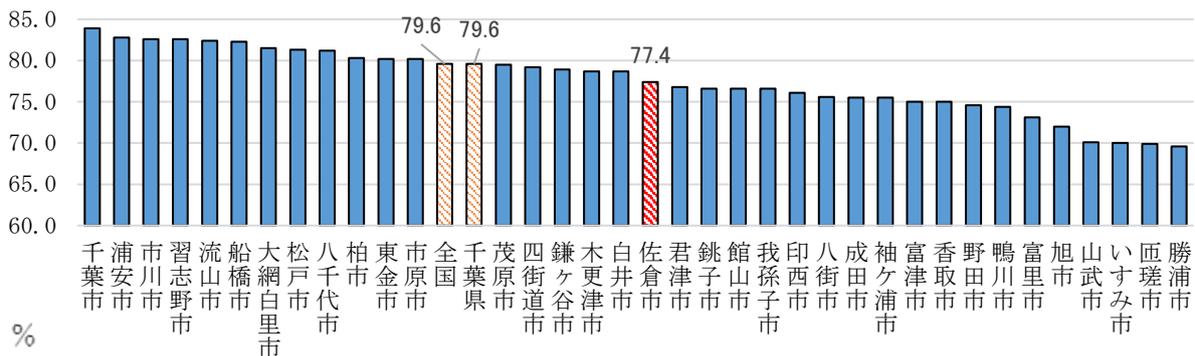
サービス利用者全体に占める在宅・居住系サービスの利用者の割合を要介護度別に比較すると、全国・千葉県と比較して低い傾向にありますが、地域別でみると、37市中18番目に高い状況となっています。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
佐倉市(%)	95.3	89.6	67.8	53.7	47.1	78.1
千葉県(%)	96.2	92.2	69.8	54.1	50.3	79.7
全国(%)	95.5	91.4	70.3	52.7	47.0	79.8



出典：厚生労働省「見える化」システム D-38.在宅・居住系サービス利用者割合 令和2年（2020年）時点

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
佐倉市 (%)	95.0	88.1	66.6	52.8	44.5	77.4
千葉県 (%)	96.0	91.9	70.1	54.0	49.2	79.6
全国 (%)	95.4	91.2	70.5	52.6	46.4	79.6



出典：厚生労働省「見える化」システム D-38.在宅・居住系サービス利用者割合 令和元年（2019年）時点

## 考察

佐倉市をはじめとする印旛郡市のサービス受給率は、在宅系サービス、施設系・居住系サービスともに全国、千葉県平均を下回っています。特に、在宅系サービス受給率は県内でも低い状況です。

要支援・要介護者1人あたりの定員は、通所系サービスでは千葉県平均を、施設系・居住系サービスでは全国平均、千葉県平均を上回っています。

現時点ではサービス受給率が低い一方、要支援・要介護者1人あたりの定員は県内でも高い水準にあるため、サービス利用ニーズに応えやすい状況であると考えられます。

しかしながら、サービス受給率の増加と利用者の重度化が進んでおり、在宅サービスの種類が不足している現状もあることから、今後も各サービスの利用ニーズ及び提供体制を的確に把握し、必要なサービス体制を確保していく必要があります。

## 5. 給付

### 受給者 1 人あたり給付月額

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	データの値								
			佐倉市			千葉県平均			全国平均		
			H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
在宅および居住系サービス	D15-a	円	126,774	127,565	128,026	129,024	129,429	129,548	128,185	128,900	129,416
在宅サービス	D15-b	円	117,512	117,781	117,521	118,831	119,070	118,816	117,519	118,093	118,274
訪問介護	D17-a	円	75,919	76,722	78,083	70,596	72,105	76,895	67,103	68,976	73,422
訪問入浴介護	D17-b	円	55,502	62,902	68,096	62,059	62,520	62,807	61,422	61,972	62,553
訪問看護	D17-c	円	40,340	41,382	43,290	40,368	40,186	41,014	40,770	40,525	41,144
訪問リハビリ	D17-d	円	39,945	40,342	43,820	34,636	34,344	35,364	33,103	33,257	33,724
居宅療養管理指導	D17-e	円	11,559	11,638	11,228	11,844	12,026	11,871	11,757	11,950	11,886
通所介護	D17-f	円	84,289	84,861	87,736	76,080	76,795	80,335	80,623	81,708	85,002
通所リハビリ	D17-g	円	81,937	77,972	86,092	60,364	59,250	59,612	59,758	58,548	59,313
短期入所生活介護	D17-h	円	90,711	93,714	113,862	106,526	109,941	128,112	94,811	96,210	108,505
短期入所療養介護	D17-i	円	80,251	83,905	87,444	89,088	88,005	95,881	84,906	85,797	90,935
福祉用具貸与	D17-j	円	12,457	12,383	12,517	12,773	12,682	12,886	11,564	11,483	11,661
特定施設入居者生活介護	D17-k	円	162,070	168,761	175,354	178,626	180,637	184,151	174,931	176,483	179,241
介護予防支援・居宅介護支援	D17-l	円	11,808	11,790	11,980	12,938	12,996	13,121	12,647	12,673	12,730
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	D17-m	円	195,495	170,753	149,680	160,176	163,609	167,951	151,090	153,667	159,012
夜間対応型訪問介護	D17-n	円	10,856	0	0	23,810	24,538	27,951	34,120	35,927	39,199
認知症対応型通所介護	D17-o	円	110,025	114,761	109,573	113,828	111,694	117,602	113,354	114,241	118,031
小規模多機能型居宅介護	D17-p	円	201,670	191,108	168,388	188,582	189,834	189,787	180,054	181,840	184,454
認知症対応型共同生活介護	D17-q	円	229,521	234,105	238,881	252,817	256,064	259,755	250,256	253,186	256,464
地域密着型特定施設入居者生活介護	D17-r	円	184,885	195,947	200,806	194,132	196,364	199,504	191,225	192,308	195,140
看護小規模多機能型居宅介護	D17-s	円	232,011	253,414	285,642	248,690	269,272	278,416	241,355	245,977	251,873
地域密着型通所介護	D17-t	円	82,076	78,102	83,225	71,182	70,979	75,820	73,908	73,822	77,098

## 考察

受給者1人あたり給付月額はいくつかの年々増加傾向にあり、在宅サービスのうち訪問及び通所系サービスでは千葉県平均・全国平均を上回っており、増加率も高い状況です。

認知症対応型の訪問・通所・共同生活介護は、千葉県・全国よりも下回っている一方、地域密着型サービスは、上回っております。

受給者の利用ニーズに応え、在宅生活の継続を支援するために、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や、通所・訪問・宿泊サービスを組み合わせて提供する小規模多機能型居宅介護等の整備を検討していく必要があります。